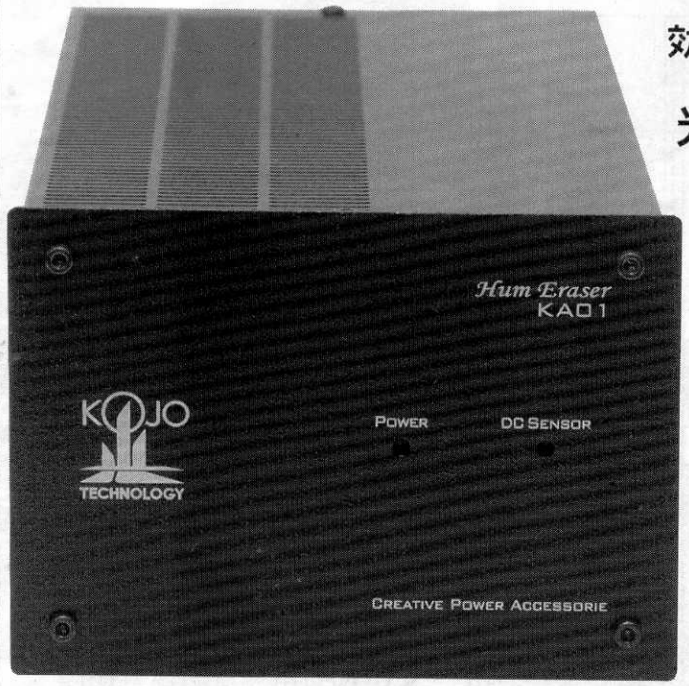
効果的なAC電源対策法を考える——

光城精工



新　忠篤

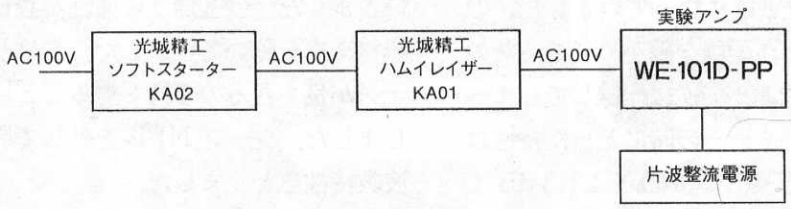
ノグチトランス／ファインメット・コア使用のFMPT-400
アイソレーション・トランスと組合せて試用

高度なオーディオ・ライフをエンジョイするためにAC電源の質が問われている．AC電源に乗ってくる雑音が音質に害を与えるから，防止対策を高じなければならないという．また商業電源の波形をオシロで覗くと正弦波とはかけ離れた波形になっているから，具合が悪いのだという．

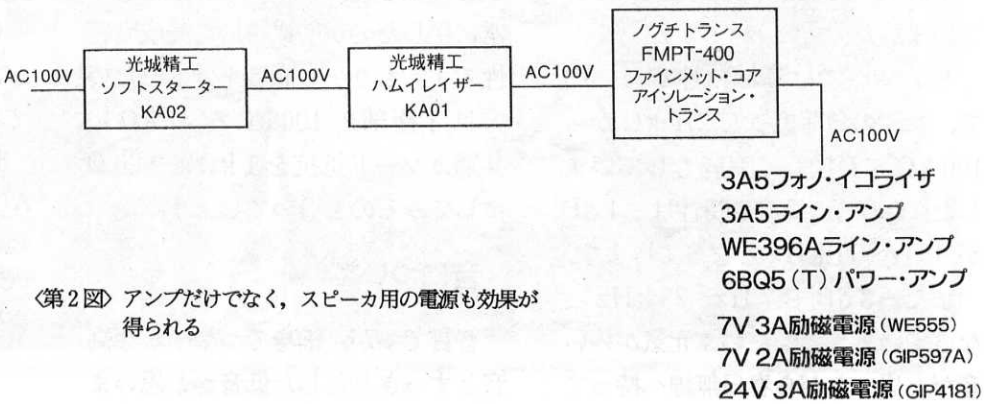
言われてみると気になることばかりだが，対策電源用の機器は概ね大きく，重く，しかも高価である．私は他人がどう言っても，自分で試してみなければ納得しない質なので，これまで腰を上げなかった．

ところが「管球王国」Vol. 53で“ハムイレイザー”と銘打った小型軽量のAC電源対策機器をテストする機会があった．製造元の光城精工は青森県平川市にある企業向けのエレクトロニクス技術を提供している会社で，その事業の一つである交流安定化電源の開発から生まれた製品が“ハムイレイザー”KA 01（¥49,800）である．KA 01の容量は1,000 VAで最大1 kWまで使用可能．また組み合わせた“ソフトスターター”KA 02（¥32,800）はスイッチON後に電子コントロール機能でAC 100 Vをゆっくり立ち上げて突入電流を抑える．KA 02は最大1,500 VAの容量を持っている．

私が“ハムイレイザー”KA 01に注目したのは，その効能書に書かれた「AC電源に含まれるDC成分（最大300 mVまで）を取り除くことで電



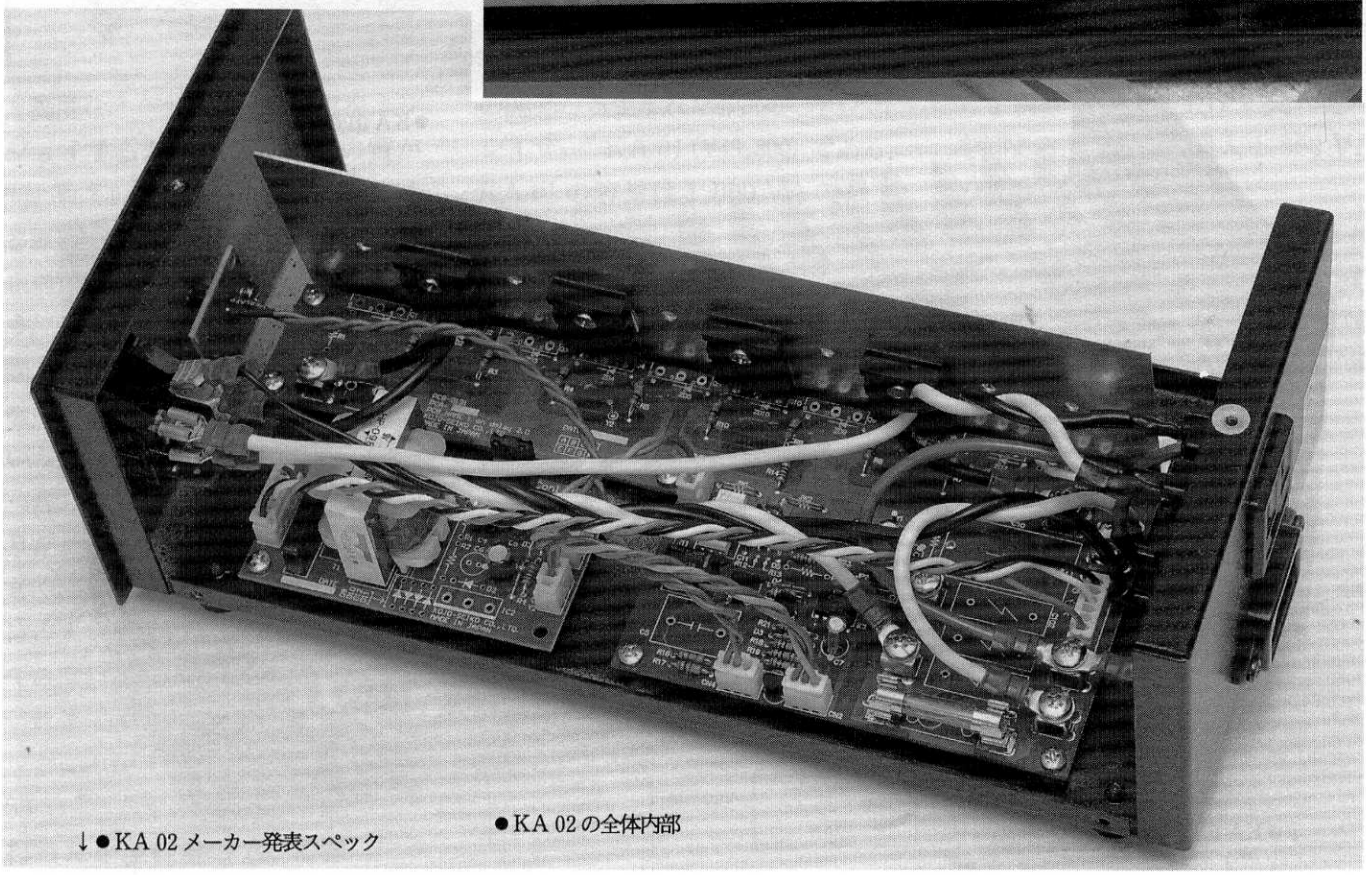
〈第1図〉実験用アンプの接続図



〈第2図〉アンプだけでなく，スピーカ用の電源も効果が得られる

ー・トランスを手で触ると振動を感じる．この電源に“ハムイレイザー”につなぐとパワー・トランスの振動は小さくなり，その効果は顕著だった．さらに驚いたのは中低音の解像度が大きく向上したことだった．低音部にあったモヤが消えて音場の見通しが良くなった（第1図）．

今回，改めて実験を試みたのは，霧が晴れた音に，すこし粘りと力が加わる工夫をしたかったからだ．その発想はWE-707Aコントロール・キャビネットにヒントを得た．WE-707Aの構造については明らかではないが，AC電源回路に挿入する大型トランス．負荷となる機器のパワー・トランスの1次側に並列にぶらさがるトランスがAC電源



●KA 02の全体内部

↓●KA 02メーカー発表スペック

交流出力		交流入力		その他	
出力接続方法	コンセント(1口)	入力接続方法	インレット(1口)	待機電力	0.01W以下
相数・線数	単相2線アース付き	相数・線数	単相2線アース付き	外形寸法	W:130 H:94 D:267 [mm](突起物含まず)
出力電圧	AC100V±10%	入力電圧	AC100V±10%	重量	約1.8kg
出力周波数	50/60Hz	入力周波数	50/60Hz	冷却方法	自然空冷
出力容量	1500VA	入力容量	1500VA	周囲温度	0～40℃
遅延時間	500mS			相対湿度	10～90%(結露なきこと)